

INTER BEE IGNITION × DCEXPO

INTER BEE IGNITION × DCEXPO

会 期：幕張メッセ会場：11月16日（水）～18日（金）
オンライン会場：11月1日（火）～12月23日（金）

会 場：幕張メッセ、オンライン

Inter BEE主催：（一社）電子情報技術産業協会

Inter BEE運営：（一社）日本エレクトロニクスショー協会

INTER BEE IGNITION × DCEXPO 共同運営：（一財）デジタルコンテンツ協会

対 象：XR（VR/AR）、CG、3D 映像／音響、人工知能（AI）、メタバース、ブロックチェーン、超臨場感映像、プロジェクションマッピング、ドローン、ロボティクス、インタラクティブシステム、モーションシステム、メディアアート、その他先進映像表現技術、4K/8K プロジェクタ、デジタルサイネージ、ライブエンターテインメントテクノロジー、空間演出、演出用特機、照明システム、ビックデータ、クラウド、IoT、その他表現・体験技術

公式サイト URL：<https://www.inter-bee.com/ja/forexhibitors/conference/ignition/>

出展社数：26 社

内 訳：（国内出展社数：24 社 海外出展社数：2 社）

出展参加国と地域数：2 つの国と地域

■開催内容

デジタルコンテンツ EXPO（DCEXPO）は、先端技術とコンテンツをテーマにした国際イベントとして、コンテンツ産業のイノベーションの促進に貢献し、INTER BEE IGNITION は、拡張するメディアとエンターテインメント世界における先進映像表現技術の可能性を発信してきた。コンテンツ産業とエンターテインメント産業におけるイノベーション＆ビジネスの最前線への進化を目指し、日本の先進映像技術や先端コンテンツ技術をより広く発信するため、2022年、DCEXPO と INTER BEE IGNITION は融合し、「INTER BEE IGNITION × DCEXPO」として実施した。幕張メッセでの技術の体験展示やステージイベント、VR 体験のほか、テーマに沿ったコンファレンスをオンラインや幕張メッセ国際会議場で開催し、国内外の登壇者が最新の情報を発信した。

■2022 年度の新規取り組みとその成果・特色など

INTER BEE IGNITION × DCEXPO 基調講演では、2025 大阪・関西万博をテーマに、アスキー総合研究所の遠藤諭氏（モデレータ）、テーマ事業プロデューサーとして「いのちを磨く」というテーマを担当する落合陽一氏、会場運営プロデューサーの石川勝氏により、万博の歴史を振り返りつつ、先進的な映像表現等、未来を作る新しいテクノロジーへの期待が語られた。また企画セッションでは、ボリュメトリックキャプチャ、メタバース、Web3、XR などによる、先進コンテンツ技術やヴィジュアルテクノロジーの視点でこれからの社会とビジネスを考えるセッションが多く実施された。またプレセッションでは、英語によるピッチに対し有識者がコメントや審査をする「DCEXPO 企画：TechBiz ピッチバトル」や、革新的な先端コンテンツ技術を発掘、表彰する「Innovative Technologies」の採択者、審査委員によるトークパネルも行われた。

幕張メッセの展示会場では、XR コンテンツ制作やメタバース関連企業等、10 ブースの展示に加えて、DCEXPO の「Innovative Technologies 2022」8 ブース、「TechBiz：Technology Business Acceleration Program」8 ブースの展示が行われた。ステージイベントでは、恒例の「先進映像協会ルミエール・ジャパン・アワード2022 表彰式」のほか、出展者のデモンストレーションを実施。スタートアップによる、AI 技術を活用したオンライン・ダンスレッスンサービスのデモンストレーションも注目を集めた。また企画イベントとして「EXPLORE NEW REALITIES（VR コンテンツ体験コーナー）」が設置され、HMD によるメタバースと先進 VR が体験できるなど、3 日間に渡って多くの来場者に新しいテクノロジーを紹介した。

